



ひと、  
まちも、  
きらきら。



# イオンモール CSRレポート 未来への報告書 2011

つなげたい想いを、かたちに。



## イオンモール株式会社

CSR統括部 CSR推進部

〒261-8539  
千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 イオンタワービル8階  
TEL: 043-212-6348 FAX: 043-212-6333  
<http://www.aeonmall.com>



イオンモール株式会社は、環境  
マネジメントシステムの国際規  
格ISO14001の認証取得企業です。



2011.7.29 30,000



イオンモール株式会社

# 力をあわせて、まちをつくる。

## Top Message

まずは2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。イオンはグループを挙げて地域社会にとって生活のインフラとしての役割を果たすべく、地域の皆さまや行政機関とともに、被災からの復興を目指し全力で取り組んでおります。

### お客さまに愛されるまちを、広く世界へ

当社はこれまで主に国内で商業専門ディベロッパーとして成長してまいりましたが、今後はアジアのディベロッパーと互角に渡り合える態勢を整え、中国・アセアンでの成長基盤を早急に確立したいと考えています。私どもがこれまでに培ってきた小売に精通したモールビジネスを通して、つねにお客さまの視点に立ち、地域の皆さまから愛される新しいまちづくりを世界に広げてまいります。そのためには従来の枠組にとらわれず、ショッピングセンター(SC)を中心にまち全体を開発し、エリア全体の価値を高めていくような発想も必要になります。

国内の既存SCにつきましては、規模、店揃え、環境対応など、あらゆる面でつねに変化していくことが必要です。時代を後追いするのではなく、自らが世の中の変化を促すような存在となることが理想です。ひとたび地域に出店したら、お客さまに必要とされる商業施設として、変化しながら全力で存続していく。それが私どもにとってのサステナビリティにつながると考えています。

### 優秀な人材が活躍できる場として

イオンの理想を具現化する商業施設をつくるためには、イオンのDNAとイオンモールのノウハウを兼ね備えた人材が必要です。特に当社は各SCに女性向けの専門店などを数多く揃えているにもかかわらず、女性社員の登用が大幅に遅れていました。すでにアジア各国では多くの企業で経営陣や役員の過半数を女性が占めています。国の政策や制度に違いはあるものの、当社も性別を問わず優秀な人材が能力を発揮できる企業にしていきたいと考えています。幸い当社の従業員には世界で活躍できるチャンスがあり、従業員にとっても理想を実現できる企業のひとつではないかと考えています。

中国やアセアンで展開する商業施設においては、イオンのDNAをもった現地の人材が責任者となって、その国の言語や慣習で運営をするのが基本的な方針です。私どもが携わるビジネスはきわめてローカルな産業ですから、その国の現地の力で完結しているのが理想なのです。

### 率先して社会的責任を果たすために

国内でも海外でも、お客さまから愛されるまちをつくるためには、企業としての責任を果たすことが不可欠です。かつてアメリカのある地域で、社会貢献を長期にわたって継続してきた商業施設が競合店の進出でダメージを受けたとき、地域住民が「あのお店をつぶしてはいけない」と結束して買い支えたという話があります。これは地域の方々と一体となってコミュニティを形成していたからこそ起こりえた話だと思えます。

とりわけ私どもの商業施設は大規模で、地域にもたらす影響も重大ですから、お客さまにいつまでも支えられ、ともに歩んでいけるように、社会的な責任を積極的に果たしていきたいと考えています。

たとえば、最重要課題のひとつであるCO<sub>2</sub>の削減については、現在では国内のSCの3分の1を上回る19SCが鉄道や地下鉄の駅に近接しており、公共交通機関でご来店いただけます。またEV(電気自動車)への対応もいち早く進めています。かねてよりイオングループでは社会的な要請に先駆けた環境活動に取り組んでおり、1991年から継続している植樹活動もそのひとつです。SCでの植樹は単に緑を増やす活動ではありません。そこで50年、100年と地域のために貢献させていただきたいという想いを込めて、これからも皆さまとともに木を植えて、大切に育ててまいります。

このCSRレポート『未来への報告書』にて、私たちがつくる「まち」の現在とこれからのついてご報告いたします。まだまだ取り組みが不十分なこと、レベルアップが必要なこともございます。多くの皆さまよりご意見などを賜り、改善に役立ててまいりますので、よろしく願いいたします。

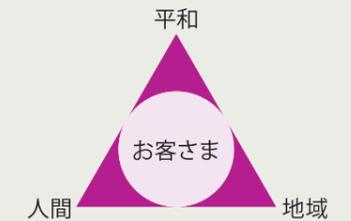


イオンモール株式会社  
代表取締役社長

## 岡崎 双一

### イオンの基本理念

イオンは「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という不変の理念を堅持し、その具現化のための行動指針である「イオン宣言」を胸に、「お客さま第一」を実践してまいります。



#### イオン宣言

イオンは、日々のいのちとくらしを、開かれたところと活力ある行動で、「夢のある未来」(AEON)に変えていきます。

### イオンモールは、「イオン」の一員です

イオンモール株式会社は、ショッピングセンター(SC)専門ディベロッパーとして、大規模複合型SCの開発と管理運営を通じて、地域社会の発展と文化の向上に寄与しています。

### イオンモールの理念

#### 基本理念

**お客さま第一**

#### 経営理念

**イオンモールは、「輝きのあるまちづくり」を目指します。**

私たちは、パートナーとともに、輝きのあるまちを創造し、地域で生活する人々の、より彩りあるくらしの実現に貢献し続けます。

「輝きのあるまち」とは  
私たちが創る「驚き、感動、喜び」のある生活拠点によって魅力あふれる新しい生活があるまちのことを指します。

「パートナー」とは  
地域社会、行政、NPO、テナント企業、協力企業、地権者、投資家など、まちづくりにかかわるすべての人を指します。

#### コーポレート・メッセージ



**ひとつも、まちも、きらきら。**

### 目次

特集1：ひとつの「まち」ができるまで	P04
特集2：愛され続ける「まち」を育てる	P08
特集3：世界へひろがる「まち」をつくる	P12
緊急特集：東日本大震災復興への取り組み	P16
イオンモール CSRの取り組み	P17
すべての人が生き活きと働く職場の実現	P18
地域から地球へ、環境保全の推進	P20
健全で良好なパートナーシップの推進	P24
不断の安全追求から生まれる安心の獲得	P26
さまざまな国の地域社会への貢献	P28
2010年度 SR会計報告	P30
2010年度 CSR TOPICS	P31

報告対象期間:2010年2月21日~2011年2月20日

対象期間外の情報についてはそのつど表記しています。  
また社員の役職は当時のものです。

# ひとつの「まち」ができるまで

## 地域とともに進めるSC開発

ひとつのSCを新規出店するためには、長期にわたる綿密な計画を立て、問題を慎重に解決していく必要があります。開発や建設にあたっては、自治体や地元住民の皆さまのご理解が欠かせません。2011年3月にオープンした2つのSCができるまでを振り返ってみました。



山梨県内に当社初の出店となるイオンモール甲府昭和。昭和町は甲府盆地の中央に位置し、古くから穀倉地帯として発展してきました。県南部から甲府市街へ向かう昭和バイパスに隣接する都市近郊立地型のSCとして、地域の皆さまに快適なショッピング環境をご提供してまいります。

# イオンモール甲府昭和

2011年3月17日 グランドオープン



### 企画開発

■ 計画地は甲府市街から車で約20分。昭和町常永土地区画整理事業の核となる商業施設として、2004年にSCの開発がスタートしました。



■ イオンモール甲府昭和の敷地面積は約125,000m<sup>2</sup>。施設の内容、環境や交通への影響など、さまざまな点について慎重に検討を重ねました。

### 建設



■ 東京ガス(株)が開発した「ソーラークーリングシステム」を国内の民間商業施設として初めて採用。ソーラー集熱パネルで太陽熱を集めて作られた温水を夏は冷房に、冬は暖房に利用できる先進の環境設備です。



■ EV(電気自動車)によるご来店にいち早く対応し、屋根の付いた充電ステーション(中速)を3台分設置しています。当面の間は無料でご利用いただけます。



■ レストラン街にはワインセラーをイメージしたシックなデザインを採用。そのほかにも、地元の名産品であるワインやフルーツのモチーフやカラーを随所に用いています。



■ 安心してショッピングをお楽しみいただくために、山梨県では初となる警察官立寄所を敷地内に設置。中には事務ができるスペースも用意しています。  
■ SCの建設は数百社が参加する大プロジェクト。建設業者を通じて多くの仕事が地元企業へ発注され、さまざまな調整をしながら工事を進めます。

### リーシング

■ 専門店の約7割が山梨県初出店です。イオンモールがオープンするならばぜひ出店したいという声が多く、地元を含めて多彩な専門店にご出店いただきました。特に子供服などを充実させています。



### 開店へ

■ オープン前には地域の皆さまと「イオンふるさとの森づくり」植樹祭を実施。当初の予定を大幅に上回る約3,000名の方にお申し込みをいただき、SCへの大きな期待が感じられました。



幼稚園に通う長男の記念になればと思って植樹祭に参加してみました。初めての経験でとても楽しんでいましたよ。いつか大きくなって今日のことを忘れてしまっても、ずっとここで自分が植えた木の成長が見られるのがいいですね。実は2~3年前からイオンモールが出店するという話を聞いていたので、待ちに待ったオープンなんです。ここに来ればひとりの買い物すべて済みますから、毎日がとても便利になると期待しています。

甲府市在住 藤田 亜由未 様



■ 合同説明会を開催し、各専門店がオープンにむけてスタッフを採用します。専門店が採用した従業員も、必ずイオンモールが実施する教育訓練に参加していただきます。

■ ソフトオープン当日の3月11日に東日本大震災が発生。グランドオープンの式典は中止となり、館内節電や計画停電へのご協力をいただいたのオープンとなりましたが、多くのお客さまから励ましのお言葉をいただきました。

開発から携わり、さまざまな苦勞がありました。皆さまのご協力をいただいて県初のイオンモールをオープンすることができました。他県のイオンモールを視察していただくなど、ていねいな説明を重ねて地域の皆さまとの信頼関係を築けたのがよかったです。新規SCのオープンをゼネラルマネージャーとして迎えられるのは幸せなことです。「山梨にイオンモールができてよかった」と言っていただけでも、お客さまが期待している以上のサービスを提供していきたいですね。

ゼネラルマネージャー 上春 俊朗

2011年3月18日 グランドオープン



福岡県の南端に位置し、かつては三池炭鉱を中心に日本の代表的工業都市として拡大した大牟田市。計画地となった岬町地区は、有明海沿岸の主要都市を結ぶ「有明海沿岸道路」の大牟田ICに近接。筑後地域初となる2核1モール型のSCとして、皆さまの暮らしの交流拠点となることを目指します。



■ 2008年に大牟田市から佐賀県鹿島市に至る主要都市を結ぶ有明海沿岸道路が開通。筑後地区から計画地へのアクセスがスムーズになりました。

■ 三池炭鉱が閉山し、人口の減少が進んでいた大牟田市。周辺住民や町内会への説明会では「大牟田の街を元気にしてほしい」という声が多く寄せられました。



■ フロアにはベビーカーや車椅子を動かしやすい磁器タイルと、長く歩いても疲れにくいカーペットの貼り分けを実施。どなたも移動しやすいように配慮しています。

## 企画開発



■ かねてより計画地を広域から人が集まる交流拠点にしたいと考えていた大牟田市と意向が一致。以前に工場誘致が計画されていたため、4車線道路などのインフラも整備されていました。



■ 以前から行われていた鹿児島大学の調査で、計画地には約25種類の希少生物がいることが判明しました。そのため敷地の約5,800㎡をビオトープとして保全しています。

■ SCをオープンするにあたっては、まず地域の特性に合わせたコンセプトを策定します。イオンモール大牟田の基本コンセプトは「やさしさにぎわいのある町」。SCづくりのすべてにこの考え方が貫かれています。



行政、地元、私どもで三位一体となった開発ができるのがイオンモールの強みです。いかにして皆さまと確かな信頼関係をつくるかを大切に考えています。

開発本部 西日本開発部 部長  
浅対 亨

## 建設



■ 市消防本部からの要請により、高度な救急医療を必要とする患者を搬送するためのヘリポートを敷地内に整備。地域医療に貢献するとともに、災害時にも活用できます。



■ リングロードと呼ばれる敷地内を周回する車道を設置。これにより約4,800台の駐車場へのアクセスがスムーズになり、周辺道路や敷地内の混雑を緩和します。



■ 炭鉱跡のレンガ造りや旧三井港倶楽部など、石炭の町として栄えた古き良き大牟田の町並みを新しいスタイルで表現した4,300㎡の「ありあけコート」を設けました。

## リーシング



■ かつては市内に映画館が9館もあったという大牟田の皆さまが心待ちにしていた、筑後地区唯一となるシネマコンプレックス「セントラルシネマ」。

■ 九州初が10店舗、筑後地区初が76店舗と、皆さまに喜んでいただける専門店が揃いました。地元からの直接出店も7店舗あり、ひとつのSCで最新のトレンドも地域の老舗もお楽しみいただけます。

## 開店へ

■ SC全体で約2,000名の雇用を新たに創出しました。休憩室には従業員専用のコンビニエンスストアやパウダールームを設け、職場環境の向上を図っています。

■ 市および西鉄バスとの協議で、SCから大牟田駅、商店街、市立総合病院を結ぶバス路線「イオンモール大牟田線」を新設。高齢者の方にも便利にご利用いただけます。

■ 災害による停電、断水などを想定して受水槽に300トンの飲料水を確保。簡易トイレも速やかに設置できるように準備を整えています。

■ ご利用額の一部が「大牟田市まちづくり基金」に寄付される「おおむた大蛇山WAONカード」を発行。大牟田市中心地区商店街加盟店でもご利用いただけます。



福岡、佐賀、熊本、さらには長崎県の島原地区も含めた4県から来店いただける広域集客型のSCを目指しています。ベビーカーを押して3世代で楽しそうに歩くご家族を見るだけで、ここへ出店させていただいてよかったと思います。このSCが20年、30年と皆さまから愛されるようになるための遺伝子を残すのが私たちの責任だと考えています。

ゼネラルマネージャー  
山本 幸男



# 愛され続ける「まち」を育てる

## SCの持続可能性

雇用や税収の面からも地域に与える社会的影響の大きいショッピングセンター。それぞれのイオンモールが果たすべき第一の責任は、時代の変化やお客さまのニーズに応じて存続していくことにあります。いつまでもそこにあってほしいと望まれるSCであり続けるための、地域に根ざした活動をご紹介します。

### ■ 地域に深く根ざしつつ、トレンドの発信拠点となるSCへ

#### ■ 10年の時間がもたらすもの

日本の近代化に貢献した別子銅山とともに発展し、現在も瀬戸内有数の工業都市である愛媛県新居浜市。2001年6月にオープンしたイオン新居浜ショッピングセンター(現イオンモール新居浜)は県内に類のない大規模SCとして話題になり、松山市からも多くのお客さまが来店しました。毎年秋には「新居浜太鼓祭り」に会場を提供するなど、年を追ってイオンモールは工都・新居浜に欠かすことのできない商業施設に成長します。

一方で、積み重なる歳月はSCの負担にもなります。たとえば経年劣化。雨や潮風にさらされる外壁、使用頻度の高いトイレなどから、徐々に古さが目立ってきます。部分的に改善を重ねてきた館内のサインも統一されていませんでした。そして、なによりもお客さまの満足度を左右するのが専門店の顔ぶれです。「いま流行のあの店を入れてほしい」というお客さまの声もSCに多く寄せられるようになりました。



四国三大祭りに数えられる「新居浜太鼓祭り」は、新居浜出身者にとって「盆・正月には帰らずとも太鼓祭りには帰ってくる」と言われるほど。初日にはイオンモール新居浜駐車場に川西地区の太鼓台が集結し、御礼口上、掻き比べを行い、祭り全体を盛り上げます。

#### ■ いかにして鮮度を保つか

こうしてはじまった、オープン10周年を控えた大規模リニューアル。お客さまの要望を肌で感じている現場のスタッフが想い描いたのは、高感度な専門店に加え、大型の家電、スポーツ、書店が揃い、映画も見られる「日常から非日常まで365日楽しめるSC」でした。イオンモールにとって、リニューアルは単なる改装ではありません。核となるコンセプトから見直し、慎重な計画のもとに再投資が行われます。営業を休むことなく準備を進めるため、工程管理は非常に複雑です。2009年秋には増床棟「ノースモール」が完成し、モール全長は約195mから約370mにまで拡大しました。この増床棟を抜けて外に出ると、四季折々の花が咲く憩いの場「せとうちガーデン」が待っています。

瀬戸内の島々をイメージして設計された庭園「せとうちガーデン」で、四季の花が織り成す景色をお楽しみいただけます。あえて落葉樹を採用するなど、季節感を味わっていただける工夫が施されています。



#### ■ 館内全体を活性化

さらに既存棟にも新しい専門店が数多く出店し、イオンモール新居浜は2011年4月にリニューアルグランドオープンを迎えました。専門店区画の約55%が新規拡大、縮小、業態変更、業種変更の対象となっています。新たな専門店の出店で既存店も刺激を受け、館内全体が活気づきます。設備面も大幅に改善され、オープンした頃の輝きを取り戻したSCの姿がそこにありました。

地域に深く根ざして固有の文化を尊重し、一方で最新のトレンドをいち早く皆さまに提供する。そんなイオンモールの存在価値が再確認されたリニューアルの一例です。

# イオンモール新居浜

2011年4月22日 リニューアルグランドオープン



2010年11月にオープンした増床棟(ノースモール)は延床面積約23,000m<sup>2</sup>。キッズアパレルを中心に、ファミリーアパレルからカルチャーまでご家族でお買い物を楽しめるショップを取り揃えました。



増床棟の壁面に太陽光パネルを設置。30wの蛍光灯約167本相当の電力をまかさないです。

### 専門店 店長さまの声

SC全体がフレッシュに  
かつ処 季の屋 店長 渡辺 浩二 様



10年の節目を迎えたところで、お客さまを飽きさせないようにリニューアルするイオンモールの取り組みは素晴らしいと思います。もちろん我々もお客さまを飽きさせないよう努力すべきですが、各専門店だけでやっても大きな力になりません。そこを館内全体で盛り上げていただけるので、たいへん助かっています。



再びトレンドリーダーへ  
プリベ石川 店長 猪川 大吾 様



SCがオープンした当初から店長をしています。当時のイオンモールはトレンドリーダー的なイメージが強かったのですが、10年経ってそういった印象がやや薄れていたのは確かですから、今回のリニューアルは楽しみにしていました。私どもの店舗自体は以前と同じ場所にあるのですが、活性化の好影響が売上にも反映されています。



ゼネラルマネージャー 廣井 隆 (中央)  
オペレーションマネージャー 小林 大作 (左)  
営業マネージャー 文山 陽平 (右)

短期間でここまでやり遂げたという思いはありません。部下の両マネージャーが本当によくやってくれました。スタッフが代わっても「もっとよくなりたい」という思いが次から次へと引き継がれてSCが進化していく。尽きるころは「人」の力だと実感しています。(廣井ゼネラルマネージャー)

## ■ 近いからではなく、選ばれてご来店いただけるSCへ

### ■ 中途半端では残れない



1978年の開店以来、大阪市の京阪沿線を主な商圏として営業を続けるイオンモール寝屋川グリーンシティ。2008年からゼネラルマネージャー(GM)を務める山本匡秋は、リニューアルの計画に頭を悩ませていました。

売場面積の3分の2を占めるジャスコ(現イオン)こそ堅調なもの、専門店フロアが伸び悩み、トータルで毎年約5%のペースで売上が落ちていました。ひとりで来店されるお客さまの比率が高いのは、ゆったりと買い物を楽しめるSCではない証拠です。自転車利用の多い地域事情に対応しきれず、エントランス付近が雑然としているのも悩みの種でした。

「周辺には大型店も増えていますし、「近いから」という理由だけで選んでいただくのでは限界があります。もう一歩進んで、お客さまに新しい提案ができるSCにしたいと考えました。思い浮かべたのは、平日の昼間にゆっくりおしゃべりするお母さまたちや、ベビーカーを押してショッピングを楽しむ若いご夫婦の姿でした(山本GM)」



駐輪場の増設により、エントランス付近にあふれていた自転車もすっきりと整理されました。

### ■ ニーズは足でつかむ

思い切ってジャスコの面積を縮小し、専門店スペースを拡張することを決めました。そして、お客さまが望んでいるのはどんなSCなのかを探るため、山本GMはスタッフと手分けをして寝屋川市の電話帳に掲載されている商店に片っ端から足を運び、客層や売れ筋を確かめて回ります。住居も市内へ移しました。「なにもそこまでせんでしょ…」という声も聞こえましたが、マーケティング資料の数字だけではわからないものが見えてくると確信していました。本社のリーシング部門とも検討を重ね、イメージに合った店が見つければ熱意を込めてメリットを説明し、出店契約にこぎ着けました。

もちろん専門店の力に頼ただけではありません。売場面積を削っても開放感のある吹き抜けを設け、ステージで子どもたちが喜ぶイベントを開催したい。明るくて快適な授乳室がほしい。フードコートには赤ちゃんを連れてご家族が安心できる座敷席があればいい…構想はさらに膨らんでいきました。



明るいイラストに彩られたベビー休憩室は調温温水器も完備しています。

### ■ 地域への感謝を込めて

リニューアルで、もうひとつ重視したのが地域との連携でした。その象徴がSCの目の前、国道170号線にかかる緑町歩道橋です。老朽化して美観を損ねていた陸橋を再塗装するために大阪府と交渉を重ね、合意に至るとSCのスタッフ全員がボランティアでペンキ塗り作業に参加したのです。「この地で30数年商売をさせていただいた感謝もあって申し出ました。しんどかったけれど、みんなであれをやって地域との一体感が出ました」と山本GMは振り返ります。通路の内側には、いつまでも思い出にしてほしいという気持ちを込めて、地元の子どもたちが描いた絵を展示しました。

また、日頃から付き合いのある地元・緑町の自治会長とも頻りに意見交換を行ったほか、3階には地域住民の方の文化活動や発表の場となるコミュニティスペースを設置するなど、地域社会とのいっそうの調和が図られました。

### ■ 新たな一歩

こうして2010年9月23日、イオンモール寝屋川グリーンシティはリニューアルオープン。駐車場の一部を駐輪場に改装し、新しい入口も設けたことで積年の自転車問題も解決されました。最初の年末年始には全館で前年度比110%を超える売上を達成。なにより嬉しいのは、小さなお子さまを連れてお母さまのグループや若いファミリーなど、待ち望んでいた新しいお客さまの来店が確実に増えたことです。開店33年を迎えたイオンモール寝屋川グリーンシティは、地域の皆さまとともに新たな一歩を踏み出しました。

# イオンモール寝屋川グリーンシティ

2010年9月23日 リニューアルオープン



吹き抜けから見下ろした開放感のあるセンターコート。地域のさまざまなイベントも開催されます。



きれいに再塗装されたSC前の緑町歩道橋。お子さまの絵を飾って明るいイメージに生まれ変わりました。



30代女性へのアパレルを強化するとともに、地域No.1を目指すキッズゾーンも構築。さらに充実したショッピング環境をご提供します。



フードコートの座敷席は赤ちゃんのいるファミリーに大好評。従来は店舗にしにくかったスペースを有効活用しています。

このリニューアルには最初から最後まで関わったので感慨深いですね。つらい思いも、イオンモールで働く醍醐味もたくさん味わいました。あくまでこれはスタート地点、チャレンジすべきことはまだまだたくさんあります。

ゼネラルマネージャー  
山本 匡秋



# 世界へひろがる「まち」をつくる

## グローバル展開におけるCSR

海外事業はイオンモールの成長を支える重要な柱のひとつです。イオン北京国際商城ショッピングセンターに続き、昨年度は天津でも国家プロジェクトの中心的存在となるSCをオープン。言葉や文化の壁を越え、お客さまからもパートナー企業からも選ばれる商業施設となるための取り組みをレポートします。

### ■ 郊外型SCの価値が浸透し、著しい成長を実現



ゼネラルマネージャー  
吉野 直樹

2008年11月のオープンから1年ほどは知名度もなく集客に苦労しましたが、2010年度は前年度比で売上が約161%、来店客数は2倍から3倍に達しました。週末は約3,000台の駐車場が満車になります。北京の市街地は地価が高騰し渋滞も激しく、一方で郊外のインフラが整備されてきました。こうした条件が揃うことで、広い平面駐車場を備えてゆったりとショッピングを楽しめるイオンモールのビジネスモデルが受け入れられてきたと考えています。加えて現地の大型商業施設にはない店づくりのアド

バンチやオープン後の地道な運営——たとえば専門店へのサポート、定期的な集客施策、設備の維持管理などが実を結んだのだと思います。北京ではマンションやオフィスビルに付加価値を与える目的で商業施設が併設されるケースが目立つのですが、私たちはSCとは本来どんなものであるべきか、どうすればお客さまに喜んでいただけるかを考えぬいてきました。そうしたイオンモールの企業姿勢がお客さまや専門店に目を追って浸透してきたという感触はあります。市街地から車で30～40分の郊外、出店当初は「なにもない場所」などと言われましたが、わずか2年ほどで大規模な集合住宅が着工され、地下鉄も開通しました。私たちのSCを中心に、日本では考えられないほどのスピードで都市機能が備わり、新しいまちができていっているのを目の当たりにしています。

それでも、まったく安心はしていません。物価上昇が激しい中国では専門店との契約更新年数が短めに設定されており、専門店の入れ替えを含めて、いかにしてSCの価値を高め続けていけるかが重要なポイントになります。家族連れがベビーカーを押しながらショッピングを楽しみ、館内にいつも笑顔がたえない…そんなイオンモールのイメージを、できるだけ早く北京でも確立したいと考えています。



SCに隣接する地下鉄昌平線の生命科学園駅



イオンモールでは現場であるSCに多くの判断や裁量が委ねられており、仮に失敗しても個人だけが責任を問われることはありません。ですからプレッシャーもありますが安心してチャレンジできます。働きやすさという点で当社が特に優れているのは、3年後や5年後に各自がどうなりたいかという目標が明確に意識づけられていること。私も開発の仕事などをもっと勉強して、いずれはゼネラルマネージャーを目指したいと考えています。

営業マネージャー  
王 勇



# イオン北京国際商城ショッピングセンター

2008年11月7日 グランドオープン



### ■ 専門店 店長さまの声



路面店にはない安心感  
富金豚 店長 井迎 光昭 様

志願して中国に来ましたが、もし路面店だったらもっとたいへんでした。消防や衛生の役所の方とも直接話さなければなりませんよね。そうした意味ではイオンモールに守られていると感じます。館内のルールに従っていれば基本的には問題が起きませんし、スタッフの管理も楽に行えます。指導に従って厨房もつねに清潔にしています。



グリストラップの清掃

### ■ 密接なコミュニケーション

LILY(ファッション)店長 王 灵娟 様



ファッションを担当するSCの営業担当者とは、売上状況や品揃えについて日頃から活発にコミュニケーションし、売れ筋やディスプレイについてのアドバイスもいただきます。SCのスタッフは仕事に責任をもって取り組んでいますから、私たちもそれに応えてしっかりと売上を伸ばしていきたいと思っています。



### ■ すべての専門店で公平

紙老虎(書店)店長 柏 晓鋒 様

当店が出店した際には、駅、館内、Webサイトなどの宣伝・広告にたいへん力を入れてくださって、とても心強かったです。イオンモールの運営・管理はすべてのテナントに公平であり、透明性が高いと感じています。月にいちど店長会議があり、さまざまな情報を共有できるのもありがたいです。

### ■ 地域の子どもたちとともに

イオンモール全店で毎月11日に実施しているクリーン&グリーン活動。イオン北京国際商城SCでは、近隣の史各庄中心小学のみなさんと協力して、地域の清掃などの取り組みを行ってきました。

以前から環境についての教育に力を入れていたことで、クリーン&グリーン活動に参加することになりました。

德育主任  
張玲玲 先生



クリーン&グリーン活動に参加して、環境を守ることの大切さがよくわかりました。両親もいいことだねと言っていました。

6年生 王馨蕊さん



掃除をしてみたら、木も空もきれいになったような気がしました。地球はみんなのお母さんだから、世界のみんなで守らないといけないと思います。

6年生 李佳玥さん



2010年10月29日 グランドオープン

## 最新のノウハウを投入し、国家プロジェクトの中心に



ゼネラルマネージャー  
榎沢 仁

2010年10月、中国で当社2店目のSCとなる「イオンモール天津TEDA」がオープンしました。中国国内に4つしかない直轄市のひとつで、華北地区の工業の中心として古くから繁栄してきた天津市。「TEDA」とは天津市街から約50kmに位置する経済技術開発区の略称で、国家3大開発プロジェクトのひとつとされています。周辺には大規模なサッカースタジアムやコンベンションセンター、高層マンションが建ち並び、成長著しい中国にあってひとときわ注目を集めているエリアです。

先行するイオン北京国際商城SCとは立地特性が異なり、開発区で独自に定められた方針やルールなども存在するため、北京での経験を十分に活用しつつも、現地の状況にあわせたSCづくりを進めてきました。

平日のお昼になると、近くの官庁や企業に勤める方たちがランチを目的に続々と来店し、レストラン街やフードコートは



防災センターでは128台のカメラで館内に異常がないかをモニタリングしています。

活気にあふれます。夜に仕事を終えてから食事や映画をゆっくりと楽しむ方も多く、TEDAでは数少ない娯楽を提供する場にもなっています。

当SCのオープンにあたっては、国内のSCで培った最新のノウハウを可能なかぎり投入しました。太陽光発電やLED照明などの環境設備を積極的に導入しています。開店して8ヵ月、売上、来店客数ともに順調に推移しており、今後も地域のお客さまの生活に貢献できるように日々の業務に取り組んでまいります。また天津では2012年、2013年にも新規SCがオープンする予定になっていますので、店舗運営の基礎づくりや人材育成にも力を注いでいきます。



エコインフォメーションでは館内の環境設備や太陽光発電の運転状況がわかります。



地熱で外気を熱交換してから空調に利用し、環境に与える負荷を軽減しています。

2007年3月に入社し、半年間イオンモール成田で研修を受けました。現在はイオンモール天津TEDAの副総経理として、オペレーションと財務を中心にトータルな運営・管理に携わっています。オープンまではさまざまな苦労がありましたが、たいへん勉強になりました。まずはイオンモールの考え方や仕事のやり方を他の社員にしっかりと納得してもらい、そのうえで専門店のスタッフと円滑なコミュニケーションを取るよう心がけています。

副総経理 江 升 龍



## 現地社員を育成する研修プログラム



イオンモール(中国)  
商業管理有限公司  
副総経理 坂部 正博

管理部 王 芳

必要な人材はできるだけ現地で採用するのが当社の方針で、中国ではすでに現地法人で採用した社員が84名在籍しています。日本で培った経験やノウハウをいかにして彼らに伝えていくか。これは今後の海外戦略における重要なテーマです。

2010年には一般職の本格的な研修プログラムを導入しました。将来的には、

ゼネラルマネージャーも含めて現地採用の社員だけでSCの運営・管理ができるようにするのが理想です。



## 中国でのSC建設

日本では建設業者に図面を渡して着工から仕上げまでをまとめて発注しますが、中国ではオーナー(地主)が躯体と主要設備を発注・施工し、引き渡し後に当社が発注する仕上げや残りの設備工事を施工します。

法律や習慣・文化も多くの点で異なりますから、思い通りにいかないことも想定し、時間的な余裕を確保して仕事を進めています。



建設部  
副総経理  
古尾谷 邦康

## 今後の展望



イオンモール(中国)  
商業管理有限公司  
総経理 西尾 徹二

中国でもマイカーの普及に伴ってライフスタイルや消費志向が変化し、広い駐車場を備えた郊外型の商業施設が支持される時代が訪れています。出店のスピードをさらに加速するべく、複数の省で計画を同時に進めているところです。そのために人材のシフトも必要ですが、もとより開発は日本人だけでできるものではなく、現地で経験の

ある優秀な方たちとの協力が欠かせません。日本から来る社員には自ら事業を起こすくらいの志が求められ、高度な専門知識や技能がなければ、現地の人たちに尊敬の念をもって受け入れられることはありません。たとえば環境への取り組みなどについて言えば、確かに日本は現時点で中国より進んでいます。しかし成長や変化のスピードは段違いです。日本のSCもノウハウを積み重ねて日々進化しているわけですから、中国にも最新鋭のモールをつくっていかねば今後の成長は望めないと考えています。



天津市郊外で建設が進む新SC

## アセアンでの展開を見据えて

イオンモールのアセアンへの展開にもエンジンがかかってきました。2010年1月に駐在事務所を開設したベトナムのホーチミンは2013年に1号店を開店する予定になっております。また、首都ハノイにも今年に入り駐在事務所を新設し本格的な開店準備に入りました。またインドネシア、カンボジア、ラオス、インドにおいても出店に向けて調査を開始しております。アセアン各国の発展は我々の想像以上に速いスピードで進んでおります。イオンモールもチャレンジャーとして全力で21世紀のまちづくりに挑戦していきます。



アセアン企画部 部長  
高荷 隆



# 東日本大震災復興への取り組み

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、一部のSCで建物・設備が損傷するなどの物理的被害が発生しました。被災地域のSCでは、まず食料品や生活必需品を扱う核店舗のGMS「イオン」の営業再開を最優先に対応し、専門店ゾーンについても順次再開してきました。6月のイオンモール名取エアリ(宮城県)3階部分の再開をもって、すべてのSCで営業を再開しています。

## ■ イオングループの対応

イオンでは地震発生直後の15時00分には幕張本社に対策本部を設置し、17時00分には仙台事務所に現地対策本部を設置。本社と連携して地域店舗の支援活動に向けて従業員の派遣を開始しました。広域避難場所に指定されていたイオン石巻ショッピングセンターには最大時で約2,500人の地域住民が避難しました。また防災協定に基づいて被災地の6県14市に商品や飲料、衣料、薬品などの支援物資を提供しました。その後も、国内外の商品調達ネットワークを活用し、被災地域の店舗でも早期に営業を再開し、全国の店舗で募金活動をはじめとする復興支援を行いました。



## ■ イオンモール名取エアリの取り組み

各専門店のスタッフが冷静にお客さまを誘導し、被害を最小限にとどめることができました。これは全館を挙げて避難訓練に取り組んできた成果だと思えます。SCでは映画館とフードコートの復旧を特に急ぎました。これは生活必需品の次にお客さまが必要とするものを考えた結果です。



ゼネラルマネージャー  
袖山 雅彦



震災直後の3階専門店フロア。営業再開までに3か月近くを要しました。



敷地内に設置された受水槽も大きく歪んで使用不能になりました。



避難所で過ごす子どもたちに笑顔を届けようと、イオンホールで映画上映会を開催しました。



津波で流された名取市の観光名物「ゆりあげ港朝市」をSCの駐車場で臨時開催しました。

## ■ 全国から寄せられた支援の輪

全国のイオンモールにおける募金活動では、お客さまから1億8,800万円の募金をいただき、当社のイオン1%クラブの拠出金1億6,800万円を合わせ、当社から3億5,600万円、イオングループ全体では約50億円を被災された地域の行政へお届けしています。



41のSCでお客さまからの応援メッセージを記入していただきました。35冊の応援メッセージノートやスケッチブック、そして237枚の寄せ書きが支援金とともに被災した自治体に届けられました。

# イオンモール CSRの取り組み

## 国際規格に基づく5つの柱

持続可能な発展のために

企業がどのように社会的責任を果たすのか――

これは国や業種を問わず

あらゆる企業とそのステークホルダーにとって

重要なテーマとなっています。

当社では、社会的責任に関する初めての国際規格として

2010年11月に発行された

ISO26000を踏まえた5つの柱をベースに

全社的なCSR活動に取り組んでいます。

ISO26000が定める7つの中核主題

1. 組織統治
2. 人権
3. 労働慣行
4. 環境
5. 公正な事業慣行
6. 消費者課題
7. コミュニティ参画および開発

## ■ CSR 推進体制図



FTSE4Good指数シリーズとは、環境保全、ステークホルダーとの関係、人権への配慮の3つの観点から企業を評価する世界的な社会的責任投資(SRI)指標のひとつです。2011年3月の見直しで、7年連続で組み入れられました。



当社は2008年に日本政策投資銀行より「環境の取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を2回連続で取得し、環境格付融資を受けました。

すべての人が  
活き活きと働く  
職場の実現

組織統治、人権、  
労働慣行に関連

健全で良好な  
パートナーシップの  
推進

公正な事業慣行  
に関連

地域から地球へ、  
環境保全の推進

環境に関連

不断の  
安全追求から  
生まれる  
安心の獲得

消費者課題に関連

さまざまな国の  
地域社会への  
貢献

コミュニティ参画  
および開発  
に関連

当社の創造する「輝きのあるまち」は「社会」そのものでもあると考えます。すなわち、私どもの行うことすべてが「CSR(企業の社会的責任)」に関連するものであり、CSRの考えなくして当社の継続的発展はありません。今後もCSRの取り組みを継続し、レベルアップしていく必要があります。国内外を問わず、基本理念である「お客さま第一」に立ち、「輝きのあるまち」を創造し、地域で生活する人々のより彩りのある暮らしの実現に貢献し続けてまいります。



取締役 営業本部  
CSR統括部長  
村井 正人

私たちは人権を尊重し、性別や国籍に関わりなく企業の発展に参画できる組織、またすべての従業員の能力が最大限に発揮できる職場を実現します。

## 女性管理職の登用

当社では従来より女性管理職の育成に力を入れており、その成果のひとつとして、今年度は初めてSCに女性のゼネラルマネージャー(GM)が登用され、2011年には2人目の女性GMが誕生しました。すでに国内のSCに配属されているオペレーションマネージャー/営業マネージャーの20%以上を女性が占めています。しかしながら海外の企業などと比較すれば、幹部社員に占める女性の割合が多いとは言えません。今後も積極的に人材育成や管理職への登用を進めてまいります。

女性管理職の内訳(2011年2月20日現在)

	2009年度	2010年度
<b>GM/部長職</b>		
本社	2名	1名
SC	0名	1名
<b>マネージャー</b>		
本社	5名	2名
SC	22名	26名
合計	29名	30名

## 責任を感じつつ、日々新しいチャレンジを

リーシング事業部に在籍していた2年ほど前から「いずれはSCのゼネラルマネージャー(GM)を務めてもらうかもしれない」という話がありました。現場の経験が浅いこともあり、女性初のGMという役職にはプレッシャーも感じましたが、「任命責任は会社にあるのだから思い切ってやればいい」というお話をいただき、2010年9月に就任しました。半年ほど経ってようやく仕事の全体像を把握できるようになりましたが、その間に震災もあり、SCの最終責任者としての重圧もひしひしと感じています。



相手は人間ですから、いつも思い通りにいくわけではありません。SCを代表して地域の会合に出席したり、行政の方とお話をしたりといった、これまでに経験したことのない仕事もあります。

一方で、GMとして女性の視点が活かせると思える機会も多々あります。水まわりや休憩室の備品など、男性の目に留まらなくても女性には気になることがあるものです。また、専門店の店長には若い女性が多いのですが、彼女たちにとっては男性のGMよりも気軽に声をかけやすいようで、率直な意見を伺えるようになりました。

これまで当社に女性のGMがいなかったのは、相応の年代に女性社員が少なかったこと、また会社としても積極的に重責を与えてこなかったことでもあると思います。最近の若手社員は男女ともに優秀なので、どんどん厳しい仕事を与えてもこなして成長できると思います。子育てのための施設をつくるなど会社がさらに踏み込んで対応すれば、長く働ける女性も増えてくるのではないのでしょうか。将来のことはわかりませんが、どんな部門であっても世の中のために役に立ち、社会に貢献していきたいですね。周囲から求められていると感じることが人間にとっていちばん幸せなことだと考えています。



イオンモール下田  
ゼネラルマネージャー 居城 三佳子

## 身近でありながら、新しい提案もできるSCに

2011年春に営業本部マーケティング部から異動してきました。お客さまは女性のほうが多く、売上でも女性のファッションが高い比率を占めていますので、自分がお客さまだったらこう思うだろうという気持ちは大事にしています。お客さまにとって身近な存在でありながら、行くたびにワクワクし、半歩先のトレンドも提案できるようなSCを目指します。

GMの仕事はひとりでも成り立つものではなく、専門店の従業員さま、事務所スタッフ、設備、警備、清掃さんなど多くの方々協力し合っ

てSC全体を動かしていかなくてはなりません。それぞれが自らSCをよりよい方向へ動かせるようにリードしていきたいと考えています。

イオンモールMIELL (ミエル) 都城駅前  
ゼネラルマネージャー 伴井 明子



## 多様な人材の活躍をサポート

当社に勤務するフレックス社員(パートタイマー社員)については、習熟度と昇給をリンクさせた制度を設け、ステップアップを支えています。障がい者の雇用については、今年度は全体の社員数増加に伴って法定雇用率の1.8%をわずかに下回っており、引き続き障がい者雇用を促進してまいります。また、事業の拡大に伴って今後は外国人の社員が増えることも予想されます。性別や国籍を問わず、すべての従業員に公平な機会と評価が与えられ、優秀な人材が能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。

社員データ(2011年2月20日現在)

	2009年度	2010年度
社員数(うち臨時雇用)	904名(325名)	1,053名(346名)
新入社員数(男性/女性)	33名(16名/17名)	19名(7名/12名)
障がい者雇用数	8名	8名
育児休暇取得者数(うち男性)	5名(0名)	5名(0名)

## ワークライフバランスの向上

イオンモールでは、社員が仕事と家庭での役割を両立できるよう、さまざまな取り組みを進めています。社会全体で大きな課題となっている子育て支援については、次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を策定し、千葉県労働局より次世代育成の認定事業主に認定されています。また、家族の介護が必要な社員のために一定期間転勤のない制度を設けるなど、家庭の事情に合わせた働き方ができるようにしています。

子育てを支援するために独自のガイドブックを作成しました。妊娠の段階からステージを追って必要な知識や手続きを1冊にまとめ、申請書類もわかりやすく統一。これらの取り組みが認められ、千葉県労働局より次世代育成の認定事業主と認められました。

## 成長を促す研修プログラム

社員がキャリアプランに沿ってステップアップできるよう、教育制度の整備と目標設定・評価の透明性向上を進めてきました。イオンモールでは毎年行われる登用試験を経て、上位資格への道が開ける仕組みとしており、2011年2月期の登用試験合格率は約30%、階層別の研修を約100名が受講しました。そのほか、グローバル経営の推進として、2011年2月期より海外勤務候補者の育成を目的とした研修を開講します。また、グローバルマインドセットを目的に、海外視察研修のさらなる充実を図ります。



## 楽しく・働きがいのある職場環境づくりを

イオンモール労働組合は、第4期を迎え、「人と人がつながる活動を実践しよう!」の継続を活動スローガンに、労働組合の基本機能である「雇用の維持」と「労働条件の向上」に加え、「働きがい」「生きがい」の創出に向けて取り組んでいます。海外への本格進出など、当社を取り巻く環境は大きく変化しており、その中で我々組合員が「いかに納得して変化に対応していくか」が重要であると考えています。そのために、働き方や人事制度の改革、ワークライフバランスの向上、教育プログラムの充実など、組合員のレベルアップや「楽しく・働きがいのある職場環境づくり」のため、労使協力して取り組んでいきたいと考えています。

イオンモール労働組合  
中央執行委員長 石山 修



私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。

## CO<sub>2</sub>削減の取り組み

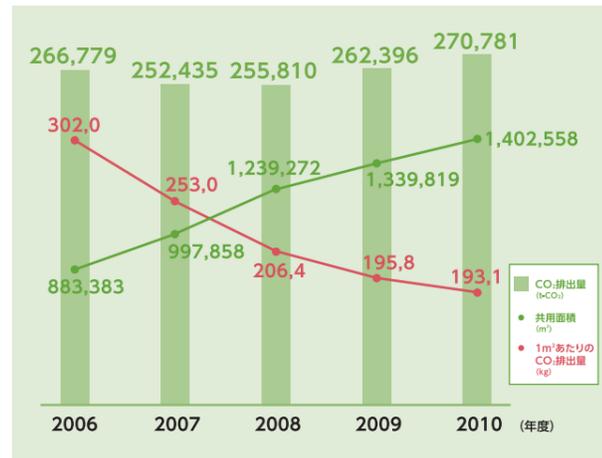
当社ではかねてよりCO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組んでおり、開発本部、営業本部、管理本部の各本部にまたがって組織される「CO<sub>2</sub>削減委員会」では、中長期計画の達成に向けて毎月の成果を確認し、設備投資策の検討を進めてきました。その結果、単位面積あたりのCO<sub>2</sub>排出量を最近5年間で36.1%削減しました。

これは新規出店するSCならびに既存SCのリニューアルにあたって最新の環境設備を導入したこと、継続的にエネルギー関連設備の検証と改善を行い、得られた成果をマニュアル化して全国のSCで水平展開したこと、そして従業員の環境に対する意識改革が一定の成果を挙げたものと考えています。また、重油炊きの熱源や自家発電など、エネルギー消費やCO<sub>2</sub>排出量の大きい設備は段階的に廃止しています。

各SCでは屋上緑化や壁面緑化などのグリーン化も進めています。これにより夏季の館内における温度上昇が抑制され、省エネルギーにつながります。また駐車場やSC周辺にも植栽を行い、緑に囲まれてショッピングを楽しめる環境づくりを目指しています。

さらに、お客さま向けの環境コミュニケーションスペースとして「エコステーション」や「エコベンチ」を設け、さまざまな環境への取り組みをお伝えするとともに、エコバッグの持参やリサイクルへのご協力も呼びかけています。

国内全SCの 植樹本数	2006年度 1,404,461本	➔	2010年度 1,761,139本
----------------	----------------------	---	----------------------



新規SCのオープンや既存SCの増床に伴って共用面積は2006年度比で158.8%に拡大しましたが、その間CO<sub>2</sub>排出量はほぼ横ばいに推移。単位面積あたりのCO<sub>2</sub>排出量は36.1%削減されています。  
※改正省エネ法対応による計算方式の変更に伴う再計算のため、2009年度以前のCO<sub>2</sub>排出量は、昨年度のサステナビリティレポートに記載した数値と異なります。



## EV(電気自動車)への対応

当社では今後普及が進むと見られるEV(電気自動車)への対応をいち早く進めています。イオンモールりんくう泉南は、「大阪EVアクション協議会」が推進する「大阪EVアクションプログラム」の一環として設置費補助金の交付先に選定され、急速充電ステーションを設けました。

また2011年3月にオープンしたイオンモール甲府昭和、イオンモール大牟田にも電気自動車の充電ステーションを設置しています。

## SCの環境設備

### 氷蓄熱システム

SCの消費電力で最も多くを占めるのが館内の空調です。特に負担の大きい夏季の冷房に使用する電力を軽減するために、氷蓄熱システムを22SCに導入してきました。これは電力負荷の少ない夜間の電気を利用して蓄熱槽に氷を蓄えておき、その熱エネルギーを営業時間の冷房に活用するシステムです。全体の使用量がピークを迎える昼間の消費電力を抑えることで節電にも貢献できます。



### 地中熱利用

気温は季節によって変動しますが、地下の比較的浅い部分の温度は年間を通じてほぼ一定に保たれています。一部のSCでは、この熱エネルギー(地中熱)で外気を熱交換してSC内に取り込んで空調に利用し、消費電力を効果的に削減しています。冬は地中から熱源をすくい上げて暖房に利用し、夏場は熱を地中に放出して冷房を行います。

## 生物多様性保全の取り組み

イオンモールは、財団法人都市緑化基金が2010年10月の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に合わせて行った「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に優良事例企業として認定されました。

「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」は、財団法人都市緑化基金が、生物多様性の保全にあたって、自社の敷地内に生物が生息・生育できる緑地を整備・保全したり、エコロジカル・ネットワークのあり方を考慮したうえで、地域の住民やNPO、小中学生とともに、環境教育や自然体験等の活動に取り組むなど、企業それぞれの視点で生物多様性保全に貢献し、その活動の実績を評価するもので、当社は「イオンモール草津」における生物多様性保全活動に対して評価されたものです。



2010年12月9日に行われた認証式では、国連開発計画親善大使の紺野美沙子さんから認定証が授与されました。

### 太陽光発電

太陽の光を電気に変えて利用する再生可能エネルギーとして広く知られる太陽光発電。イオンモールでは早くから太陽光発電システムの導入を積極的に進めており、現在は中国の2SCも含めて全16SCで設置を完了し、館内で使用する電力の一部をまかなっています。また発電量と削減できたCO<sub>2</sub>量を館内に表示し、お客さまにも関心を持っていただけるよう工夫しています。



### LED照明

各SCでは、蛍光灯や白熱電球などの従来型の照明から、消費電力がより少なく長寿命なLED照明への切り替えを進めています。また屋外の電飾サインにもLED光源ユニットが採用されています。



LED照明の「光の道」で駐車場の歩道をスムーズに誘導します(イオンモール新居浜)



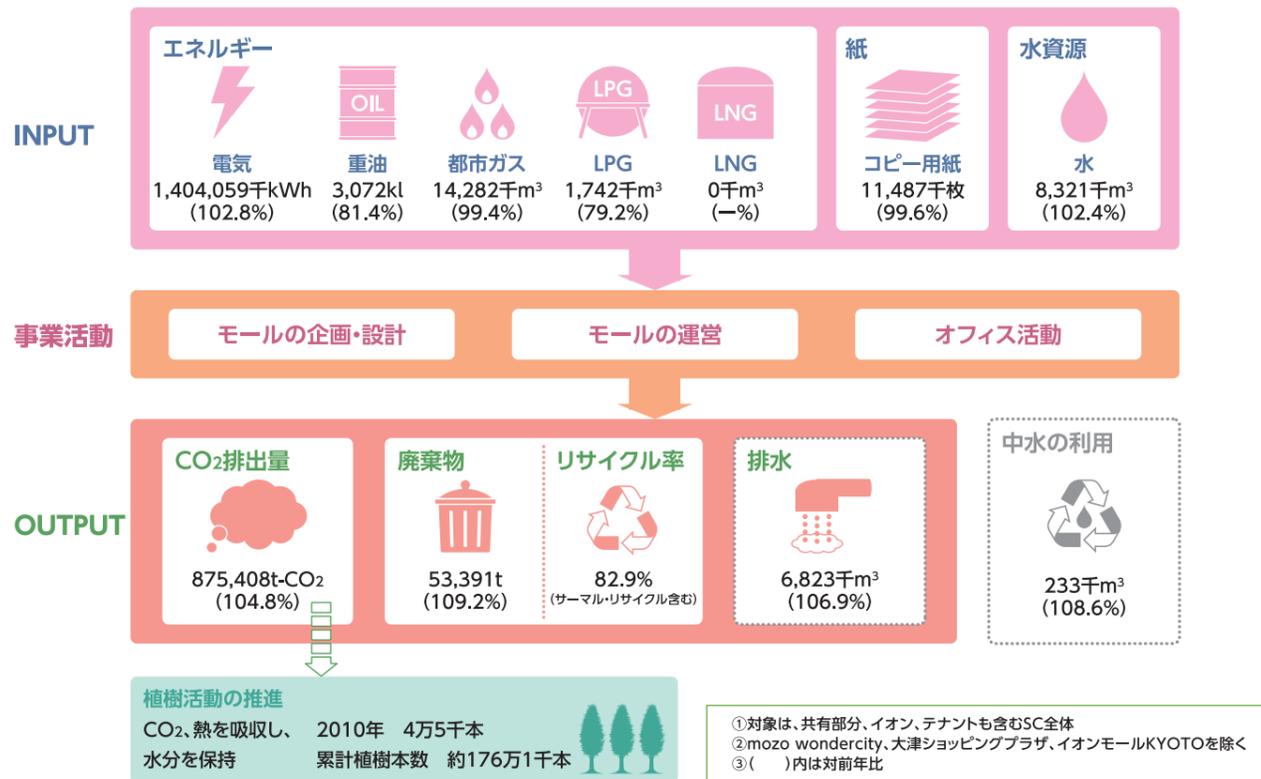
イオンモール草津では建設予定地に環境省レッドデータブックで絶滅危惧II類に指定される「ミスアカモジ」などが確認されたため、あらかじめ保管した表土を敷地内に再現した水田に張り付けて保全を行いました。水田ではトンボやバッタなどの昆虫も多く確認されています。

## ■ イオンモール環境方針

イオンモールは、資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への影響を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。そのため、環境方針を以下のとおり定め、あわせて、多くのお客さまとのコミュニケーションと地域貢献の履行に努めてまいります。

1. イオンモールは、地球温暖化の防止のため、CO<sub>2</sub>排出を削減いたします。
2. イオンモールは、地球資源を保全し、循環型社会の構築をめざすため、ゼロエミッションモールを実現します。
3. イオンモールは、お客さまをはじめとするパートナーさまの生活環境の向上と、地域社会の発展と環境保全に貢献します。
4. イオンモールは、環境法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
5. イオンモールは、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目的・目標を制定し汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
6. イオンモールは、従業員全員で環境意識を高め、お客さま・パートナーさまへの啓蒙活動を続けます。
7. この方針を当社従業員及びともに働く従業員に周知するとともに、当社の環境情報を公開いたします。

## ■ 2010年度インプット / アウトプット(国内51SC)



## ■ 夏季の節電対応について

2011年3月の東日本大震災による影響で、東北から関東のエリアで夏季の電力不足が懸念されるため、イオンではグループを挙げてピークタイム使用電力の削減を目指しています。当社においても、お客さまに安心して快適なショッピング空間をご提供しつつ、下記のような取り組みを中心に使用電力の削減に努めます。

- 館内照明の一部消灯
  - 館内温度を約28℃を目安に設定
  - 一部エスカレーター・エレベーターの運転休止
- また各SCでは専門店にも節電への協力を要請し、従業員専用スペースに最大使用電力値の推移をグラフ化して掲示するなど、節電対応における「見える化」を進めます。あわせて店頭のポスターや館内放送を通じて、お客さまにも節電へのご理解とご協力をお願いします。



## ■ 「見える化」による廃棄物削減

廃棄物の削減では「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各SCでは、廃棄物を基本17品目に分別したうえで品目ごとに計量するシステムの導入を進めており、2010年度までに39SCで稼働しています。

専門店では各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめます。今後は専門店の業種別に廃棄物の品目を分析したり、排出量のデータを専門店にフィードバックすることで、さらなる廃棄物削減や経営効率の向上が期待できます。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2010年度の全社リサイクル率は82.85%でした。

同時に、廃棄物処理法対策として、廃棄物業者さまと契約書や許可証の期限切れを未然に防止できるよう、SRシステムで自動的に告知するよう改善しています。



生ごみ収納庫には空調を備え、悪臭や害虫の発生を抑えています。



廃棄物は品目別に分別して計量。どの専門店からどれだけの廃棄物を出しているかをデータで把握しています。



従業員用のごみ箱(上)やSC館内に設置したごみ箱(下)でも分別を実施。お客さまのご協力もいただいでリサイクルを推進しています。



2010年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

1	生ごみ	10,888t	86.30%
2	段ボール	15,619t	100.00%
3	雑芥	14,656t	55.01%
4	廃プラスチック	2,625t	98.74%
5	ビン	318t	97.18%
6	缶	558t	100.00%
7	発泡スチロール	118t	100.00%
8	廃油	1,128t	100.00%
9	紙類	1,951t	100.00%
10	粗大ごみ	197t	54.74%
11	その他不燃ごみ	1,259t	70.22%
12	廃蛍光灯	80t	87.77%
13	廃電池	11t	99.23%
14	割り箸	105t	96.52%
15	廃アルカリ、剥離剤	47t	81.95%
16	汚泥	3,147t	82.87%
17	廃エンジンオイル	—	—
18	店頭回収:アルミ缶	144t	100.00%
19	店頭回収:食品トレイ	41t	100.00%
20	店頭回収:牛乳パック	147t	100.00%
21	店頭回収:ペットボトル	353t	100.00%
全社リサイクル率(サーマル・リサイクル含む)			82.85%

## ■ コンクールの実施で効果的に廃棄物を削減

イオンモール岡崎では、廃棄物排出量の削減に向けた取り組みのひとつとして「廃棄物削減コンクール」を実施しました。それまで当SCでは各専門店の従業員さまへの具体的な分別教育などは行っていませんでしたので、これを機に各種の会議などでごみの分別について説明と徹底をお願いしたうえでコンテストを実施し、前月との比較で優秀な成績だった専門店さまを表彰させていただきました。コンテストを実施した月は、焼却されるゴミの量を前月比で約4,400kgも削減することができました。今後も協力してこのような環境への取り組みを実施していきたいと思ひます。

イオンモール岡崎  
オペレーション担当 正木 宏明



私たちはこれからもパートナーと一緒に、普通の倫理に基づき、さまざまな国の商習慣に配慮しつつ健全で一層強固な協力関係を築きます。

## ■ ともにSCを運営するパートナー企業さま

広い館内に365日休みなくお客さまをお迎えするイオンモールでは、多くの企業さまにパートナーとしてのご協力をいただいています。各企業さまには「お客さま第一」という当社の企業理念をご理解いただくとともに、イコール・パートナーシップとして健全な関係を築いています。

### イオンモールむさし村山ミューにおけるパートナーシップ

毎日14時に行われる「メンテナンス会議」には、警備、設備管理、清掃の各責任者とイオンモールの担当者が参加し、さまざまな情報を共有しています。単なる業務委託を行うのではなく、ひとつのチームとして声をかけあって安全で快適なSCの運営・管理に努めています。



**警備**  
(株)コアズ 樋渡 誠 様

平日は6名程度、休日は館外を中心に13名ほどを増員し、134台のカメラも利用して24時間体制でSC全体の警備を行っています。警備といってもお客さまからご覧になればスタッフの一員ですから、私たちもそのつもりで、皆さまに楽しい時間をご提供することを第一に考えています。安全を守ることはもちろんですが、お客さまがSCで最初と最後に接する人間として、気持ちのよい対応ができるようにスタッフを指導しています。

**清掃**  
(株)不二ビルサービス 西浦 大吉 様

3~4名がSCに常駐し、空調管理や機械まわりの点検、不具合の対応などを行っています。お客さまが多いため設備の数も使用回数も非常に多く、破損や摩耗も他の建物より早いですので気がつかれますね。館内が広いので移動にも時間がかかります。大がかりな作業は閉店後に行うようにしており、どうしても営業時間内に処置が必要な場合は、お客さまにできるだけご迷惑がからないように細心の注意を払っています。



閉店後の2時間に8名、開店前の3時間にお客さまを気持ちよくお迎えできるように努めています。営業時間にも6名が館内を巡回していますが、その際はつねにお客さまを優先して考え、清掃中にお声がけをいただいたら丁寧に館内をご案内します。コミュニケーション能力も必要とされるのが一般的な清掃業務との大きな違いですね。お客さまから「いつもきれいだね」と言ってもらえるのが励みです。



**設備管理**  
三菱電機ビルテクノサービス(株) 遠山 直也 様



ヤマト運輸(株) 小熊 明夫 様

このSCでは約180の専門店あてに毎日1000~1500個もの荷物が届き、200~300の荷物が発送されますが、約20社の契約運送会社については当社でまとめて館内の配送・集荷を行っています。お客さまと同じフロアを台車で通らせていただく際には、車の運転と同じような気持ちで慎重に運搬するように繰り返し指導しています。



## ■ SCに出店するテナント(専門店)企業さま



大会テーマは「お客さまの笑顔に出逢うために」。コンテストには幅広い業種の従業員が参加します。



「イオンモール大賞」に輝いた谷山睦美さん。「仕事の中で接客がいちばん好きです。何にでも自信を持って取り組むことが大切だと思いました」と喜びを語りました。

**従業員のスキルアップを目指して**  
2010年11月に「第3回イオンモール接客ロールプレイングコンテスト全国大会」を開催しました。これは専門店従業員のサービスマインドやモチベーション向上をサポートするために行われるもので、全国の約8万7千人の従業員から地区大会代表に選ばれた15名の「GOLD STAFF」が、お迎えからお見送りまでの一連の接客のロールプレイング競技を行いました。

### 「第3回イオンモール接客ロールプレイングコンテスト全国大会」受賞者一覧

イオンモール大賞		
イオンモール宮崎 INGNI 谷山 睦美さん		
準優勝	審査員特別賞	
イオンモール千葉ニュータウン ラッシュ 茂木 雪子さん	イオンモールつがる柏 平安堂薬局 吉田 理紗さん	
優秀賞(順不同)		
イオンモール下田	ライトオン	伊藤 奈美さん
イオンモール川口キャラ	オルビス・ザ・ショップ	馬場 晶子さん
イオンレイクタウンkaze	コールドストーン・クリーマリー	橋本 英樹さん
イオンモール日の出	ザ・ボディショップ	松尾 奈美さん
イオンモール新瑞橋	AMO'S STYLE	小平 美佐希さん
イオンモール岡崎	オルビス・ザ・ショップ	木曾 友子さん
イオンモール榎原アルル	天極堂カフェクデュウ	猿島 希美さん
イオンモール大和郡山	アースミュージック&エコロジーナチュラルストア	田中 由紀恵さん
イオンモールりんくう泉南	カルディコーヒーファーム	清家 涼子さん
イオンモール高知	アースミュージック&エコロジーナチュラルストア	岡林 奈美さん
イオンモール高知	オルビス・ザ・ショップ	竹村 幸子さん
イオンモールMiELL都城駅前	クローズアップ	児玉 奈津美さん

### 従業員のための快適な職場環境のために

すべての専門店はイオンモールのパートナーとして成長を支え合う原動力です。各SCには専門店の従業員からの質問や意見、提案を募る投函ボックスを設けており、提案にはゼネラルマネージャーが回答し、SCの運営に反映しています。また、専門店のスタッフが快適に働けるよう十分な広さの休憩スペースを設けるほか、従業員専用のコンビニエンスストアを設置するSCも順次増やしています。



従業員用の休憩スペース(イオンモール甲府昭和)

### 協力してSCならではの楽しさを

すべての専門店が10時から22時の営業時間を守るなど、イオンモールさんはきちんとした対話を通してさまざまな業種にわたる専門店の統率されていると思います。同じSCの中に競合店もありますが、競っているものをご提供することでお客さまにはいっそう喜んでいただけると考えています。当社の他の店舗と比べても、イオンモールはファミリーでのご来店が多いのが特徴ですね。モノを買うだけならほとんどネットで済んでしまう時代だからこそ、ご家族で楽しい時間が過ごせるSCになるよう、ともに協力していきたいと思っています。



イオンモール新居浜 TSURUYA 店長 久保 光弘 様

私たちは関わりのあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。

## ■ 水質管理

各SCの飲食店厨房内に設置された「グリストラップ」は、油やゴミの流出を防ぐために重要な役割を果たしています。イオンモールではすべての飲食店に定期的なグリストラップ清掃を義務づけています。また、排水の除害設備の運用方法や規模の検証を重ね、より効果的な水質管理に取り組んでいます。



## ■ 衛生管理

多くの飲食店にご出店いただいているイオンモールでは、すべてのお客様に安心してお食事をお楽しみいただくために、食品衛生管理を最重要項目のひとつに位置づけています。各飲食店には事故防止のために独自の厳しいルールを定めているほか、従業員に定期的な検便も義務づけており、SCと専門店が一体となって衛生管理に取り組んでいます。



## ■ 防災訓練

多くのお客様が館内に集まるイオンモールでは、地震や火災に備えて、専門店のスタッフも参加した避難誘導や消火活動などの防災訓練を定期的に行っています。またSCによっては非常時に備えて飲料水、簡易トイレ、緊急避難用の大型 TENT「バルーンシェルター」などを備え、非常時には地域の防災拠点として機能します。



## SCと協力して事故を防止

長く地元で商売をしてSCにも出店したのですが、イオンモールには保健所の指導にはない細かい衛生基準があります。たとえば冷凍食品にも冷凍した日を明記するといったことです。ルールは厳しいのですが、きちんと説明があり、安全が何より大切という考えが一致しているので納得できます。抜き打ちでSCの検査も入りますよ。日頃からアルバイトにも厳しく指導し、他の飲食店の方ともみんなで気をつけようと話しています。



イオンモール下田  
井ぶりどんちゃん 店長 鈴木 千恵子 様

## 「だじょうぶキャンペーン」を開催

2010年9月にイオンモール川口キャラで、安全と安心を楽しみながら学ぶイベント「だじょうぶキャンペーン」が開催されました。当日はバルーンシェルターの設置やAED(自動体外式除細動器)の講習のほか、起震車による地震体験や、降雨体験車による台風の大風や強風の体験などが行われ、多くのご家族連れに参加いただきました。(主催:だじょうぶキャンペーン実行委員会、共催:イオン、イオン1%クラブ)



## ■ すべての方が安心して来店できるSCへ

全国のSCに来店されるお客さまは乳幼児からご高齢の方まで幅広く、ハンディキャップをお持ちの方、妊娠されている方、外国人の方もいらっしゃいます。あらゆるお客さまが安心してご来店され、快適に過ごしていただけるよう、当社は他の商業施設に先駆けて本格的なユニバーサルデザインを導入しました。導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード・ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。



メインフロアには、長く歩いても足が疲れにくい弾力のあるカーペットと、車椅子やベビーカーをご利用のお客さまが移動しやすいタイル床を並行して設置する例もあります。



専門家を交えて色、大きさ、数量、配置の検証を重ね、見やすさを追求したサイン。2011年3月にオープンしたイオンモール大牟田では、ピクトサインを従来の250mm角から320mm角へ変更し、視認性をさらに高めています。



トイレの快適さや使いやすさは特に重視しており、広く多機能な「みんなのトイレ」、お子さま専用で設計された「キッズトイレ」、オストメイト対応トイレなどが揃っています。



駐車場に、身障者専用スペースを確保。専用のリモコンをお渡ししてご利用いただくなど、必要とされる方が確実に利用できる環境を整えています。



疲れたときに座れるベンチやソファを通路に多数配置。ご高齢の方やハンディキャップをお持ちの方の優先席も設けています。

## ■ 進化する快適な空間づくり

当社ではお客さまの声を伺って、より快適で利用しやすい空間づくりに努めています。たとえば、明るくオープンな空間でありながら周囲からの目線には配慮し、お子さまを安心して見守ることができる「おやこトイレ」、パウダールームをプライバシースペースとした女性用のトイレ、施設できて安心してご利用いただける授乳スペースなどを設け、あらゆる時間を気持ちよく過ごせるよう配慮しています。



私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。

## ■ 地域経済の活性化に貢献

イオンモールはさまざまなかたちで地域経済の活性化に貢献します。SCを新規出店する際には建設業者を通して多くの仕事が地元企業に発注されるほか、テナントを募集する際には3分の1が地域の専門店になるよう配慮。地産地消に取り組む専門店も積極的に誘致します。さらにSCのオープンには地域に数千人単位の安定した雇用を創出し、税収や人口の増加を伴って長期的に地域とともに成長していきます。

## ■ 社会貢献の拠点として

社会貢献活動の一環として各SCが行う募金活動も、お客さまのご協力によってたいへん大きな成果を挙げています。また、2010年度は国内全SCでのべ78,062名のお客さまに献血へのご協力をいただきました。

### 2010年度 募金活動結果(当社SCでお客さまからお預りした額)

チリ共和国 地震災害 復興支援	中国青海省 地震災害 復興支援	ベトナム学校 建設支援	24時間テレビ 「愛は地球を救う」	イオン・ユニセフ セーフウォーター キャンペーン	だっごサンタ クリスマスチャリティ (日本ユニセフ協会)
2,724,035円	1,345,310円	5,544,763円	19,751,784円	2,157,634円	15,960,604円
2010年度/合計 47,484,130円					

## ■ 地域の美しい環境を未来へ

当社は地域のお客さまとともに取り組む環境保全・社会貢献活動として、新規出店SCのオープンに先立って「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しています。また1991年から行っている「グリーン&グリーン」活動として、毎月11日に専門店の従業員も参加して、開店前にSC周辺の清掃活動などを行っています。



## ■ 公共サービスの提供

イオンモールはショッピングやお食事を楽しんでいただくだけでなく、銀行、郵便局、医療機関、自治体の行政サービスコーナーなど、地域住民の方が必要とする公共性の高いサービスもご提供し、楽しさと利便性を兼ね備えた多機能複合型のワンストップソリューションとして機能します。



## ■ イオンホール

SC内に設けられた「イオンホール」は、各種団体やサークルなどの文化的活動・発表の場として、展示会、発表会、コンサートなど、目的に応じたスペースでご利用いただけます。SCによっては成人式や確定申告の会場、運転免許更新の講習会など、幅広い用途に活用されています。



## SC内にデイサービスセンターをオープン

2010年にイオンモール下田にデイサービスセンター「れいろう倶楽部」を開き、1日に20数名の方にご利用をいただいております。もともとSCはバリアフリー化されていますが、トイレや駐車場をさらに使いやすくしていただくなど、SC側から全面的なサポートをいただきました。皆さん食料品や洋服を買うのをとても楽しみにされていて、それまでの歩行訓練で成果の出なかった方がここで元気に歩けるようになった例もあります。生き生きとした表情を見ていると、欲しいものを自分で買うというのは人にとって大切なことなんだと実感しますね。



社会福祉法人 七戸福祉会 事業本部長  
戸籠 (とだて) 靖 様



## ■ 国内外での地域貢献事例

イオンモールでは、イオン1%クラブならびにイオン環境財団の取り組みも含めて、地域の祭事などの伝統行事やさまざまな市民の文化活動へのサポートを行い、あわせて海外での地域貢献も積極的に進めています。

### ● 中国(北京)

イオン環境財団は2010年4月に中国・北京市で「万里の長城植樹」活動を実施。日本からのボランティア1,400名と中国側700名の計約2,100名が参加して約2万本を植樹し、万里の長城植樹での累計植樹本数が100万本に達しました。



### ● 青森県つがる市

8月のつがる市「馬市まつり/新田火まつり」では、イオンモールつがるの柏の駐車場が特設会場となり約7000名の方が来場しました。「馬ねぶたパレード」には専門店を含むSCのスタッフも参加し、市民との交流を深めました。



### ● 中国(天津)

イオンモール天津TEDAのオープンに先立って、2010年9月に「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しました。地域の学生約800名を含む約1,000名の皆さまにご参加いただき、敷地内に約1万本の苗木を植樹しました。



### ● 東京都三宅村

2000年の噴火で全島避難となった三宅島では、溶岩流だけでなく火山ガスも噴出して雄山を裸地化しました。イオン環境財団では、植樹ができるまで回復した地区に2009年から3年計画でヤブツバキ、ヒサガキ、イボタなどを植樹しています。



### ● ラオス

イオンは(財)日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと、特に農村部での教育環境が深刻なラオスで2006年より3ヵ年計画で100校を目標に学校建設支援を行いました。2009年末には120校を達成し、2010年3月に開校式を実施しました。



### ● 福岡県直方市

人力車の発明で知られる和泉要助は直方出身。イオンモール直方では、イオン1%クラブの協賛金を活用し、地元部品メーカーの協力で人力車「ヨウスケ号」を製作。成人の日には館内で新成人との記念撮影を行いました。



### ● ベトナム

ベトナムで初めてユネスコ世界遺産に登録された建造物群をもつフエ省。森の伐採が原因で汚濁が進む入江に美しい水辺を取り戻すことを目的として、2010年から6年計画で植樹活動を実施します。



### ● 長崎県南島原市

南島原市南有馬町上春地区には西日本最大級の無線送信所がありましたが、その跡地が荒廃し、水源涵養機能が低下していました。2010年より、イオン環境財団は南島原市とともに20.5ヘクタールの跡地に5年計画で植樹活動を行っています。



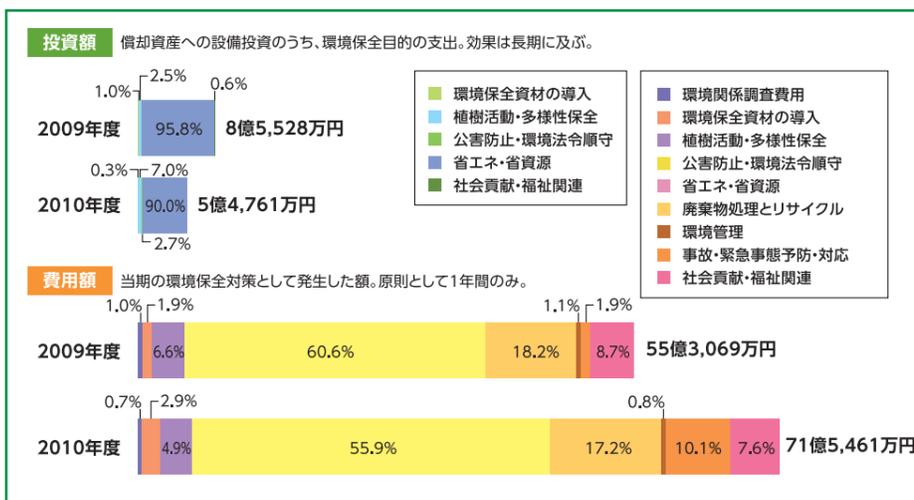
# 2010年度 SR会計報告

イオンモールでは、2002年度よりSR(Social Responsibility)会計を導入し、環境保全活動や社会貢献活動のコストを定量的に把握し、CSR経営における指標のひとつとしてきました。2010年度は投資と費用を併せた総額が、前年比で120.6%の77億221万9千円となりました。これは新規SCと大型増床が続いた2008年度の総額を超えて、過去最高となりました。昨年度集中的に取り組んだ太陽光発電施設についての投資は約5分の1に減少しまし

たが、一方でLED照明につきましては約6倍の1億円を超える投資を行いました。費用面では、特に防災・防犯関連施設の見直しを積極的に行い、消火器の入れ替え、煙探知機のメンテナンス、防犯カメラの増設などを多くのSCで実施したことで、5億3,710万円を計上しました。また昨年を引き続き省エネ対策を含めた設備運転管理の徹底や、水質対策などに力を入れたことで、前年比6億4,700万円増加の39億9,938万円を計上しました。

## 環境保全コストの主な内訳

	投資			費用			概要
	2009年度	2010年度	前年比	2009年度	2010年度	前年比	
環境関係調査費用	0	0	—	53,145	50,269	94.6%	大店立地法届けのための調査、交通量調査、環境影響評価等
環境保全資材の導入	8,324	1,615	19.4%	103,628	204,621	197.5%	リサイクル建築資材、エコ消火器、再生OA用紙等
植樹活動・多様性保全	21,779	38,286	175.8%	367,495	347,245	94.5%	植樹祭、育樹祭、屋上・壁面緑化、植栽管理等
公害防止・環境法令順守	0	14,750	—	3,352,228	3,999,375	119.3%	大気汚染防止、水質汚濁防止、施設メンテナンス等
省エネ・省資源	819,747	492,954	60.1%	232	1,272	548.3%	太陽光発電、LEDサイン、ハイブリッドカー導入等
太陽光発電	730,118	160,769	22.0%	0	0	—	
LED	17,500	101,360	579.2%	0	0	—	
廃棄物処理とリサイクル	0	0	—	1,007,572	1,228,704	121.9%	廃棄物処理・管理費用等
環境管理	0	0	—	59,728	56,823	95.1%	ISO活動推進費、教育費、情報発信費等
事故・緊急事態予防・対応	0	0	—	103,101	722,458	700.7%	防犯・防災施設、伝染病予防対策等
消火器・防災機器	0	0	—	27,761	537,100	1934.7%	
社会貢献・福祉関連	5,429	0	0.0%	483,555	543,845	112.5%	イオン1%拠出金、身障者駐車場、AED設置等
計	855,278	547,605	64.0%	5,530,685	7,154,614	129.4%	



## 投資+費用総額の年度別推移(千円)

2002年度	857,129
2003年度	1,468,265
2004年度	1,829,829
2005年度	2,155,587
2006年度	3,300,748
2007年度	4,808,598
2008年度	6,405,580
2009年度	6,385,963
2010年度	7,702,219

※2007年度下期以降は合併後の数値

期間：2010年2月21日～2011年2月20日  
対象：イオンモール(株) ISO14001適用範囲内とする

- ① 複合コスト — 環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。
- ② 人件費 — 「モール施設メンテナンス」「モールでの廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。
- ③ 減価償却費 — 減価償却費は計上していません。

# 2010年度 CSR TOPICS

## 01 カーシェアリングサービスを開始



2010年9月より、イオンモール新瑞橋、イオンモール鶴見リーファ、京都ファミリーで、オリックス自動車株式会社の協力によるカーシェアリングサービスを順次開始しました。必要なときに必要な分だけクルマを使うカーシェアリングは環境負荷の低減という観点からも社会的に注目を集めており、周辺地域のお客さまから多くのご利用やお問い合わせをいただいています。



オリックス自動車(株)カーシェアリング営業部 開発営業チーム 谷合 賢司様・佐々木 望様

世の中の動きに敏感な方を中心に、日本でもカーシェアリングの利用が拡大しています。駐車場代や維持費をかけてマイカーを所有するより、そのお金を自分の好きなことに使った方が合理的で楽しいという前向きな考えです。イオンモールさんは抜群の知名度と集客力がありますので期待はしていましたが、スタートしてみると反響は予想以上でした。他のSCの近くにお住まいの方から「こちらでも始めてほしい」というご要望もいただいております。

## 編集後記

未曾有の大震災から始まった新年度。あらゆる意味で「持続可能性」ということについて真剣に議論がされています。地震・津波で被災された多くの方々、原発で被災された多くの方々の解決は程遠いですが、この問題は日本全体に課せられた大きな課題に他なりません。過去の価値観から新しい枠組みへ移行しようとする現在、皆さまのご意見を頂戴しながら、企業にとってのCSRを再度見直し、責任を果たしてゆきたいと思っております。

CSR統括部 CSR推進部 部長 矢島 誠



## 02 EV(電気自動車)社会のインフラ構築へ



大阪・関西は、研究機関や生産拠点をはじめ、新エネルギー関連産業、なかでもリチウムイオン電池に関しては世界有数の一大集積地です。このリチウムイオン電池の有望な用途とされているのがEV(電気自動車)です。

大阪府では2009年6月に、低炭素社会構築をもとよりEVを核とした産業振興を図るため、「大阪EVアクションプログラム」を策定しました。あわせて、オール大阪の産学官とEVのエキスパートで構成する「大阪EVアクション協議会」を設立し、さまざまな取り組みを進めています。イオンモール鶴見リーファでは、同プログラムに賛同し、2011年4月からEV用200V充電器の設置やオリックスカーシェアのEV導入、EVタクシーの呼出場所設置の運用など、さまざまな取り組みを進めてきました。このたび、さらなる充実を図るため、短時間で充電できるEV用急速充電器を設置しました。この充電器は、携帯電話やパソコンからも充電予約できる「おおさか充電インフラネットワーク」に接続しています。また、将来EVのバッテリーのリユースを見据えた蓄電池併設型となっています。

## くわしいレポートをWebサイトに掲載しています。



本冊子は当社のCSRレポートのダイジェスト版であり、レポート全文はWebサイトに掲載されています。ぜひご覧ください。

<http://www.aeonmall.com>

または、 **イオンモール** **検索**